

※本馬については会員規約「26.(3) 地方入厩予定馬に関わる中央入厩予定馬との取扱いの相違点について」をよくお読みください。

グレイシアブルーの09

全40口 ●1口20万円 (総額800万円)

生産 ノーザンファーム 繋養 ノーザンファームYearling



180



180
ファルブラヴ × グレイシアブルー [牡]

*ファルブラヴ Falbrav 鹿 1998	フェアリー キング Fairy King 鹿 1982	Northern Dancer	Nearctic
		Fairy Bridge	Natalma
ギフト オブ ザ ナイト Gift of the Night 黒鹿 1990			Bold Reason
		Slewpy	Seattle Slew
*サンデーサイレンス Sunday Silence 青鹿 1986		Little Nana	Rare Bouquet
			Lithiot
グレイシアブルー 青鹿 2002			Nenana Road
		Halo	Hail to Reason
			Cosmah
		Wishing Well	Understanding
			Mountain Flower
			Northern Dancer
	*ブルーラスター Blue Lustre 青鹿 1994	Nureyev	Special
			Habitat
		Blue Note	Balsamique (16)

牡・鹿毛
2009年
2月20日

母系 FAMILY

母の父 *サンデーサイレンス Sunday Silence は米国産、米年度代表馬、米9勝、ケンタッキー ダービー-G1。本邦チャンピオンサイアー。本邦BMSチャンピオン。【BMS: 主な産駒】アドマイヤムーン(ジャパンC-G1)、スクリーンヒーロー(ジャパンC-G1)、ヴァーミリアン(ジャパンCダート-G1)、レジネッタ(桜花賞-JPN1)、ローズキングダム(朝日杯フューチュリティS-JPN1)

母 グレイシアブルーは2~6歳時、36戦3勝、日田特別。本馬が初仔
祖母 *ブルーラスターBlue Lustreは愛国産、不出走。産駒
グラスボンバー: 7勝、福島記念-JPN3、同3着、同4着、湘南S、若潮賞、アブローズ賞、オールカマー-JPN2 2着、新潟記念-JPN3 2着、エプソムC-JPN3 2着、同-G3 3着、福島民報杯-OP 2着、みなみ北海道S-OP 2着、七夕賞-JPN3 3着(2回)、アメリカJCC-JPN2 4着
フォトジェニー: 1勝、クイーンC-JPN3 3着

曾祖母 ブルー ノートBlue Noteは仏5勝、モーリス ド ギース賞-G2、ポルトマヨ賞-G3、Criterium d'Evry-L、Prix de l'Obelisque-L、パレロワイヤル賞-G3 3着、プティ クヴェール賞-G3 3着、フォル賞-G1 4着、サンジョルジュ賞-G3 4着。産駒
ザイテンZieten: 英仏6勝、ミドル パークS-G1、チャレンジS-G2、アランベール賞-G3、フォンテンブロー賞-G3、Prix La Fleche-L、ジュライC-G1 3着、プティ クヴェール賞-G3 3着、アベイユド ロンシャン賞-G1 4着、モートリー賞-G3 4着、中央入着、京王杯スプリングC-JPN2 2着。種牡馬
ブルー ダスターBlue Duster: 全欧2歳牝馬チャンピオン、英5勝、チェヴァリー パークS-G1、クイーン メアリーS-G3、プリンセスマーガレットS-G3、スプリントC-G1 2着。産駒
ブルー シンフォニーBlue Symphony: 英1勝。**ファンタジア** Fantasia(ネル グウィンS-G3)の母
スロー ジャズSlow Jazz: 仏3勝、Prix Petite Etoile-L、Criterium de l'Ouest-L 2着、サンドリング賞-G3 4着。産駒
ミスター キャヴァーンMister Cavern: 伊9勝、Premio Eupili-L、Premio d'Estate-L、プリミ パッシ賞-G3 2着
ジャズ アップJazz Up: 不出走。***ジャズプリンセス**Jazz Princess(愛パークS-G3)の母

ポイント POINT

牡馬としては少し線が細い現状ですが、成長とともにボリュームを増す父の産駒ですので、完成時にはバランスの取れた好馬体をイメージできます。ピカピカの毛ツヤや透けて見えるような薄い皮膚は新陳代謝の良さを物語っており、柔軟性抜群の身のこなしからも母父の絶大なる影響力を感じます。今後の夜間放牧を経て、その柔軟な馬体に一本芯がとおったとき、ワンランク上の走りが可能となるでしょう。地方競馬からのスタートになりますが、歴史あるヨーロッパの大レースで実績を積み重ねてきた超名門牝系でもあり、その誇りを胸に中央競馬でも互角以上の戦いを演じてくれるはずです。